

通級指導教室 1年間の流れ（例）

| 月 | 内 容 | ポイント |
|-------------|--|---|
| 1 学 期 | 4 第1週 情報収集（春休み中に） ・前担当者からの引継・これまでの指導状況の把握 第2週 時間割作成 保護者及び在籍学級担任との懇談 在籍学級での児童の様子を観察 第3週 通級指導開始 | <p>【時間割決定までの流れ】</p> <p>①他校通級児童生徒の保護者から、通級可能な曜日・時間を聞く。 ②在籍学級担任より時間割を取り寄せ、調整をする。 ※他校通級児童生徒の場合は、①・②をまとめて在籍校に依頼する。 ③時間割決定後、通級の日時を文書で学校長、保護者あて連絡する。</p> <p>【通級の指導計画】</p> <p>・※自立活動6区分27項目の指導内容を踏まえて作成。 ・退級までの目安と、退級に向けての移行支援計画も示す。</p> <p>【在籍校、在籍学級担任との連携】</p> <p>・在籍校、在籍学級担任等との懇談の際には、<u>通級における個別の指導計画と、在籍校における個別の教育支援計画、個別の指導計画をもとに、在籍校で支援することと、通級で指導することを明確にすることがポイント</u></p> <p>【自校児童生徒の実態把握と支援】</p> <p>・自校通級児童生徒の学習や生活の様子を随時参観し、通級での指導内容や、在籍学級での支援内容について在籍学級担任と連携を図る。 ・通級児童生徒以外にも、各クラスで支援を要する児童生徒の状況を把握し、必要に応じて支援を行う。</p> <p>【指導の評価・改善】</p> <p>・児童生徒のニーズを踏まえ、個別の指導計画の評価、改善を行う。その際、必要に応じて個別指導からグループ指導へ、というような指導形態の変更も考えられる。</p> <p>【次年度への準備】</p> <p>・次年度入級児童生徒の実態把握。 ・継続指導生徒の指導計画を見直し、改善し、次年度へ引き継ぐ。</p> |
| | 5 担当者 と児童生徒との関係づくり 児童生徒の実態把握 第1週までに 通級指導における個別の指導計画作成 | |
| | 6 他校通級児童生徒学校訪問（5～6月） ・在籍学級での様子を参観（授業・休み時間の様子） ・担任、コーディネーターとの懇談 | |
| | 7 学期末評価 ・在籍校に通知表を届け、担任と懇談する。 ・1学期の評価と2学期に向けて | |
| | 8 必要に応じて保護者との懇談、就学のための教育相談を実施。 | |
| | 9 10 他校通級児童生徒学校訪問（10～11月） | |
| | 11 12 学期末評価 ・在籍校に通知表を届け、担任と懇談する。 ・2学期の評価と3学期に向けて | |
| 2 学 期 | 1 次年度入級対象者等への教育相談、教室見学、体験入級を実施。 | |
| | 2 学期・学年末評価 ・在籍校に通知表を届け、担任と懇談する。 ・今年度の評価と来年度に向けて | |
| | 3 | |
| 3 学 期 | | |
| | | |
| | | |

毎時間の指導の記録を担当者、在籍学級担任、在籍校長、保護者として供覧し、共通理解を図る。